

(1) 写真（火元関係）

【化学消防車 全体像】



【水タンク 及び 水タンクヒーター】



水タンク（類似品）



ヒーター取付口



水タンクヒーター（同等品）

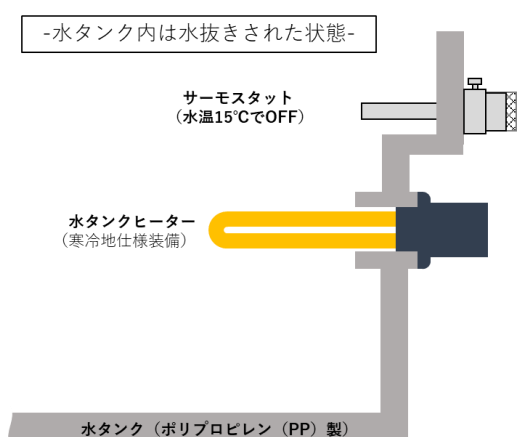
サーモスタット取付口
（水温15°CでOFF）

水タンク仕様
ポリプロピレン製水槽 1,500ℓ + 薬液槽 500ℓ（250ℓ×2区分）
前後長さ約180cm 左右長さ約120cm 高さ約120cm 厚さ12.7mm

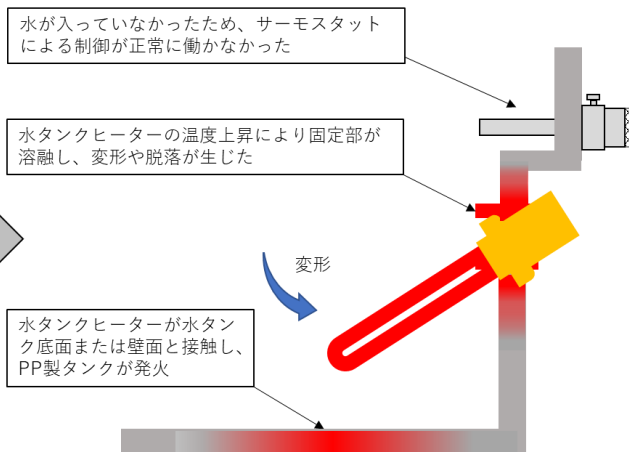
(2) 火災発生の推定原因

- ・ 火元は化学消防車の水タンク。
- ・ 水タンクの水抜き後も配管には水が残るおそれがあると考え、凍結による配管の破損を懸念し、凍結防止ヒーターの電源を入れた。
- ・ 水タンクが水抜き状態であったため、その後、水タンクヒーターの温度が上昇し、当該ヒーター固定部が溶けて、水タンクに接触し発火に至った。

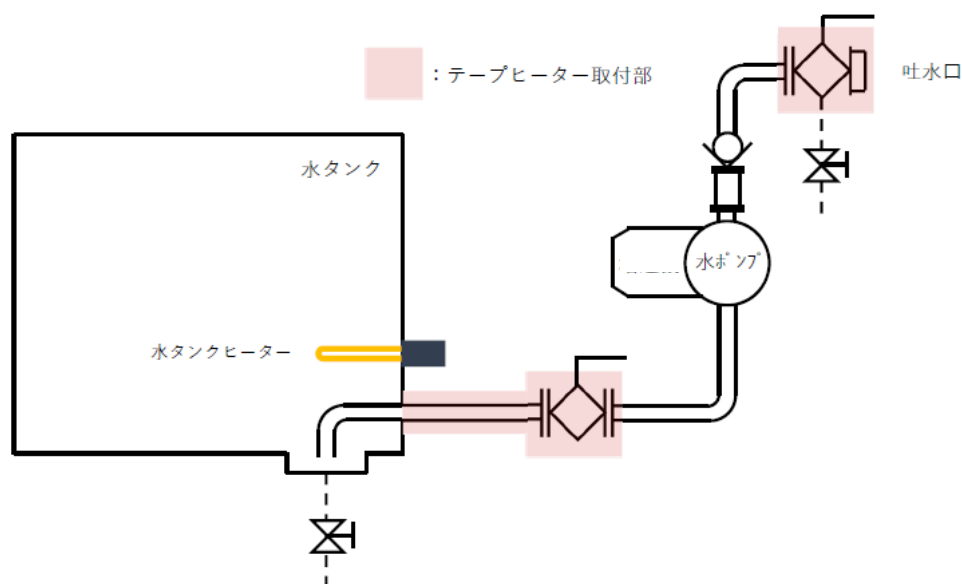
① ヒーターに通電（水タンクの壁面に設置） （2019年12月26日 ヒーター投入）



② 水タンクヒーター温度が上昇して固定部が溶け、 当該ヒーターがタンクに接触し発火



[参考] 凍結防止ヒーターの配置イメージ図



- ・ 凍結防止のヒーターは、水タンクヒーター以外に、配管の一部にもテープヒーターが設置されている。
- ・ 凍結防止ヒーター電源入りにより、水タンクヒーター及びテープヒーター（配管用）の両方に通電される。